

杉沢比山

鳥舞・みかぐら



鳥舞

鳥舞とは…

鳥舞は、高天ヶ原の天の岩戸を開いたときに、鳥が夜明けをつけて舞ったものです。

おん鳥、めん鳥が、次第にむつみ合う様子が表現されています。

説明

女装した舞手が、鳥かぶとをかぶり、左手におおぎ、右手に鈴を持ってまう二人まいの曲です。

ぎもん・しつもん

Q 一番複雑な舞は、どこですか。

A むつみ合いの場面です。

おたがい手をにぎり、おたがいが体重を後ろにかけて引つ張り合いながら回るところです。

Q どうして舞の手が複雑なのですか。

A ほかの舞は、演者の動作を合わせることできれいに見えますが鳥舞のむつみ合いは、息を合わせることと力の加減を合わせることが必要になります。

みかぐら

鳥かぶとをかぶり、女装してふりそでに帯を結び垂らし、片手におおぎ、片手に鈴を持ちながらまう二人舞の曲です。

おんどりとめんどりがたわむれ合う様子を舞ったものです。

Q グレーの人と赤い人でどっちがおんどりで、どっちがめんどりですか。

A グレーの人がおんどりで赤い人がめんどりです。

Q おんどりとめんどりは、どういう関係ですか。

A 恋人同士のような関係です。

Q どうして、帯を結びたっているのですか。

A 帯をたらしただけが舞の動きを感じることができるところからです。

Q 扇と鈴は、どっちの手でもつのかきまっていますか。

A 扇は左・鈴は右手でもつのがきまっています

二つの舞の共通点

二つの舞の共通点



Q どうして、みかぐら鳥舞の舞ては、女装をするのですか。

A 男性にしか舞うことが許されてないからです。

Q 二羽目がきたときは、どんな場面ですか。

A おんどりとめんどりが花のさく清らかな水辺でたわむれている様子です。

